



EDB

Migration Portal Guide

リリース **3.0.0**

Migration Portal Guide

2020 年 12 月 19 日

目次

第 1 章	What's New	3
第 2 章	Supported Versions	7
第 3 章	Using Migration Portal	9
3.1	Overview of the Migration Portal Home Page	11
3.2	Overview of the Migration Portal Projects Page	13
3.3	Overview of the Migration Portal Wiki Page	15
第 4 章	Migrating a Database	17
4.1	Performing a Schema Extraction	18
4.1.1	サポートされているオブジェクトタイプ	21
4.1.2	サポートされていないオブジェクトタイプ	21
4.1.3	Oracle システムスキーマ	22
4.2	Performing a Schema Assessment	23
4.2.1	評価レポートの生成	27
4.3	Schema Migration	29
4.3.1	既存のオンプレミス EDB Postgres Advanced Server ホストへの移行	30
4.3.2	新しいオンプレミス EDB Postgres Advanced Server インストールへの移行	35
4.3.3	クラウドへの移行	46
4.4	Data Migration	49
第 5 章	Advanced Data Migration	51
第 6 章	Conclusion	53
索引		55

MigrationPortal は、Oracle データベーススキーマを EDBPostgres™ プラットフォームに移行するための Web ベースのサービスです。移行ポータルは、Oracle データベーススキーマを評価および分析し、タイプ、テーブル、シーケンス、制約、トリガー、ビュー、ストアドプロシージャ、パッケージ、dblink、マテリアライズドビュー、インデックスを変換し、EDB Postgres Advanced Server と互換性のある DDL を生成します。

ユーザーフレンドリーなポータルインターフェースにより、評価と移行プロセスが簡素化されます。ポータルにログインし、プロセスを開始します。

移行ポータルガイドには、移行プロセスに含まれる手順の概要が記載されています。このガイドには、一般的な移行の問題に対する解決策、サポートされていない機能の詳細、および潜在的な回避策も含まれています。

EnterpriseDB は、企業が既存のデータベースシステムを長年 Postgres に移行するのを支援してきました。詳細については、次の EnterpriseDBWeb サイトにアクセスしてください。

<https://www.edbpostgres.com/>

第 1 章

What's New

このリリースの移行ポータルには、次の機能強化が追加されています。

- EDB Postgres Advanced Server バージョン 13 の評価。Oracle の互換性がさらに向上し、新しい Postgres 機能が追加されました。
- IBMCloud に加えて、Oracle スキーマを次のクラウドプラットフォームにインストールされた EDB Postgres Advanced Server に移行できるようになりました。
 - AmazonAWS
 - Google クラウド
 - MicrosoftAzure
- スキーマのオフライン評価が必要な場合は、移行サービスについて連絡できるように、お問い合わせフォームを追加しました。
- このリリースでは、DDL 抽出スクリプトに必要な特権が少なくなりました。現在は、CONNECT と SELECT_CATALOG_ROLE の役割と CREATE TABLE の特権のみが必要です。

Repair Handler

次の修復ハンドラは、Oracle の構文を Postgres 互換の構文に変換するため、手動で行う必要はありません。

- ERH1013-PACKAGE_BODY_PROC/FUNC_DECLARATION

PACKAGEBODY 定義から PROCEDURE/FUNCTION 宣言を削除します。

たとえば、

```
CREATE OR REPLACE PACKAGE BODY package_name
IS
    PROCEDURE sample_proc;

    var1 number:=0;
```

(次のページに続く)

(前のページからの続き)

```
FUNCTION Func_name RETURN number;

PROCEDURE proc_name
IS
BEGIN
    NULL;
END;

PROCEDURE sample_proc
IS
BEGIN
    NULL;
END;

FUNCTION Func_name RETURN number
IS
BEGIN
    return 1;
END;

END;
```

このようになります；

```
CREATE OR REPLACE PACKAGE BODY package_name
IS

    var1 number:=0;

    PROCEDURE proc_name
    IS
    BEGIN
        NULL;
    END;

    PROCEDURE sample_proc
    IS
    BEGIN
        NULL;
    END;

    FUNCTION Func_name RETURN number
    IS
    BEGIN
        return 1;
    END;

END ``
```

- ERH2091-CREATE_TABLE_CREATE_INDEX

CREATEINDEX 定義の INDEX の名前から schema-name を削除します。

たとえば、

```
CREATE TABLE "HR"."DEPARTMENTS"
(
    "DEPARTMENT_ID" NUMBER(4,0),
    "DEPARTMENT_NAME" VARCHAR2(30) CONSTRAINT "DEPT_NAME_NN" NOT NULL ENABLE,
    "MANAGER_ID" NUMBER(6,0),
    "LOCATION_ID" NUMBER(4,0)
) ;
CREATE UNIQUE INDEX "HR"."DEPT_ID_PK" ON "HR"."DEPARTMENTS" ("DEPARTMENT_ID");
```

このようになります；

```
CREATE TABLE "HR"."DEPARTMENTS"
( "DEPARTMENT_ID" NUMBER(4,0),
  "DEPARTMENT_NAME" VARCHAR2(30) CONSTRAINT "DEPT_NAME_NN" NOT NULL ENABLE,
  "MANAGER_ID" NUMBER(6,0),
  "LOCATION_ID" NUMBER(4,0)
) ;
CREATE UNIQUE INDEX "DEPT_ID_PK" ON "HR"."DEPARTMENTS" ("DEPARTMENT_ID");
```

- ERH2092-ALTER_TABLE_ADD_PRIMARY_KEY

PRIMARYKEY 構文の Oracle の ALTERTABLEADDCONSTRAINT を AdvancedServer 互換構文に変換します。

たとえば、

```
CREATE TABLE "HR"."DEPARTMENTS"
(
    "DEPARTMENT_ID" NUMBER(4,0),
    "DEPARTMENT_NAME" VARCHAR2(30) CONSTRAINT "DEPT_NAME_NN" NOT NULL ENABLE,
    "MANAGER_ID" NUMBER(6,0),
    "LOCATION_ID" NUMBER(4,0)
) ;
CREATE UNIQUE INDEX "HR"."DEPT_ID_PK" ON "HR"."DEPARTMENTS" ("DEPARTMENT_ID");
ALTER TABLE "HR"."DEPARTMENTS" ADD CONSTRAINT "DEPT_ID_PK" PRIMARY KEY (
    ↪"DEPARTMENT_ID")
    USING INDEX "HR"."DEPT_ID_PK" ENABLE;
```

このようになります；

```
CREATE TABLE "HR"."DEPARTMENTS"
(
    "DEPARTMENT_ID" NUMBER(4,0),
    "DEPARTMENT_NAME" VARCHAR2(30) CONSTRAINT "DEPT_NAME_NN" NOT NULL ENABLE,
    "MANAGER_ID" NUMBER(6,0),
```

(次のページに続く)

(前のページからの続き)

```
"LOCATION_ID" NUMBER(4,0)
) ;
CREATE UNIQUE INDEX "DEPT_ID_PK" ON "HR"."DEPARTMENTS" ("DEPARTMENT_ID");
ALTER TABLE "HR"."DEPARTMENTS" ADD PRIMARY KEY
    USING INDEX "DEPT_ID_PK";
```

第 2 章

Supported Versions

MigrationPortal は、Oracle11g、12c、18c、および 19c から EDB Postgres Advanced Server10、11、12、Or13 への評価と移行をサポートしています。MigrationPortal は、次のブラウザおよびオペレーティングシステムでサポートされています。

Supported Browsers

最高のユーザーエクスペリエンスを得るには、GoogleChrome ブラウザーを使用することをお勧めします。移行ポータルは、次のブラウザでもサポートされています。

Browser	Supported Version
MacintoshOS 上の AppleSafari	11 以上
GoogleChrome	68 以上
MicrosoftEdge	42 以上
MozillaFirefox	60 以上

Supported Operating Systems

Operating Systems	Supported Version
マッキントッシュ	OSX シエラ
Windows	10
Linux	CentOS7

第 3 章

Using Migration Portal

MigrationPortal を使用すると、データベーススキーマを Oracle から EDB Postgres Advanced Server に簡単に移行できます。評価用のスキーマをアップロードして、すぐにフィードバックと提案を得ることができます。ポータルでは、すべてのオブジェクトの評価済み DDL をダウンロードし、オンプレミスまたはクラウドで EDBPostgres™ データベースを作成できます。

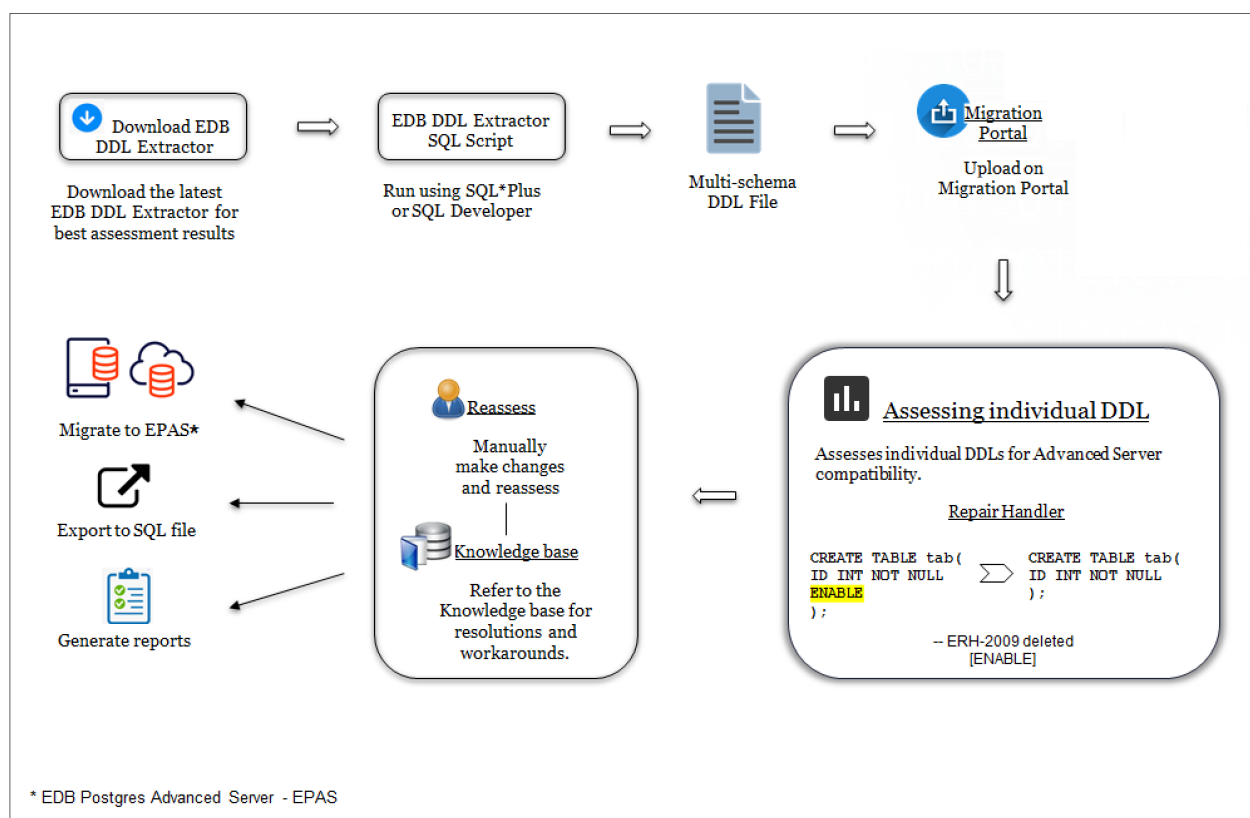


図 1 評価と移行プロセス

移行ポータルにアクセスするには:

1. ブラウザを開いて <https://www.edbpostgres.com/> に移動します
2. EnterpriseDB ホームページで、Products > *Migration Portal* をクリックします。

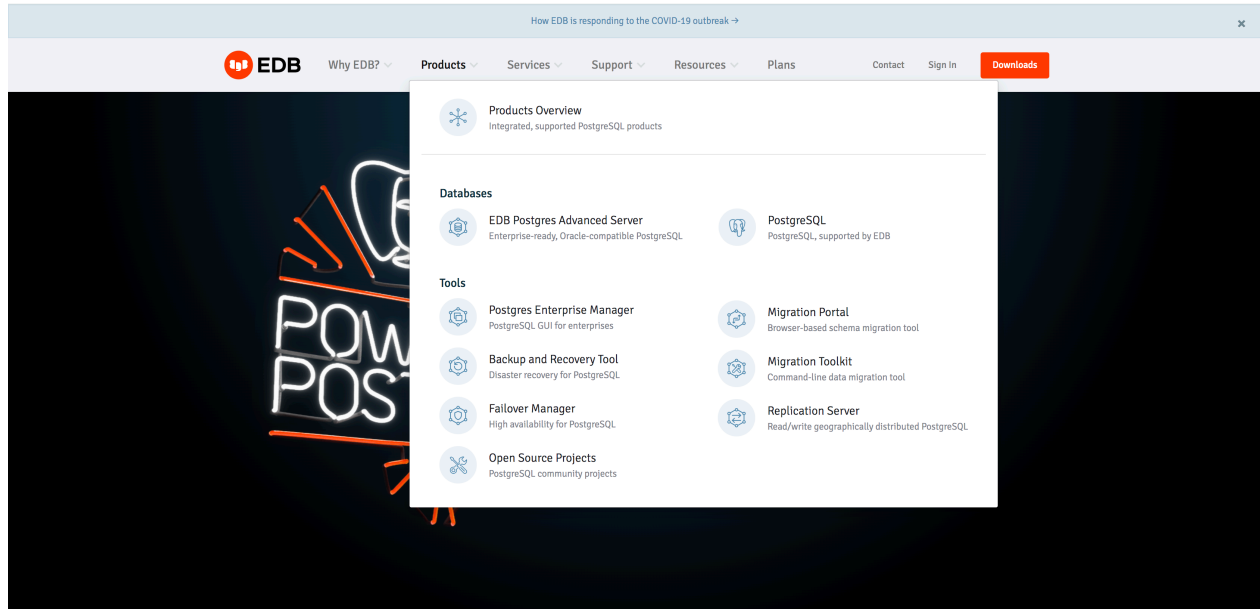


図 2 移行ポータルへのアクセス

3. Open Migration Portal をクリックします。
4. 資格情報を使用してログインします。

3.1 Overview of the Migration Portal Home Page

移行ポータルホームページでは、移行ツールにすばやくアクセスできます。

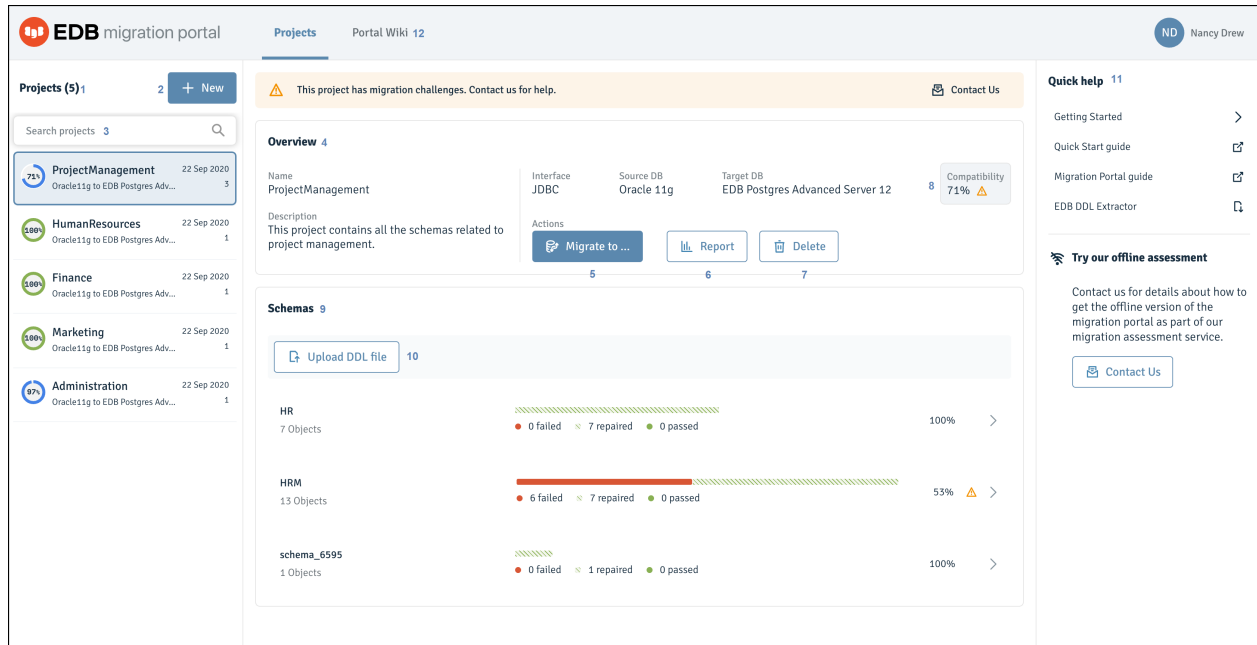


図 3 移行ポータルのホームページ。

移行ポータルのホームページでは、次の移行ポータル機能にアクセスできます。

1. **Projects** :Projects パネルには、評価されたプロジェクトのリストが表示されます。
2. **Create project** :+ New (Projects ラベルの右側にあるボタン) をクリックして、新しいプロジェクトを作成します。
3. **Search Projects** :Search ボックスを使用してプロジェクトを検索します。
4. **Overview** :Overview パネルには、選択したプロジェクトの詳細が表示され、スキーマ評価後の互換性のパーセンテージが表示されます。
4. **Migrate** :Migrate ボタンを使用して、EDB Postgres Advanced Server 互換の .sql ファイルをダウンロードするか、オンプレミスまたはクラウドの EDB Postgres Advanced Server にスキーマを移行します。詳細については、 [スキーマ移行](#) を参照してください。
5. **Report** :Report ボタンを使用して、スキーマ評価レポートを表示およびダウンロードします。
6. **Delete** :Delete ボタンを使用して、選択したプロジェクトを削除します。
7. **Warning sign** :プロジェクトまたはスキーマの互換性が 70 %未満の場合、または複数回試行しても DDL が成功しない場合、警告メッセージが表示されます。

8. **Upload DDL file** :Upload new schema ボタンを使用して、新規または追加の DDL ファイルをアップロードします。
9. **Schemas** :Schemas パネルには、アップロードされた DDL ファイルからの評価結果が表示されます。
10. **Quick help** :Quick help パネルにはすべてのヘルプガイドが含まれています。
11. **Portal Wiki** :Portal Wiki には、製品情報へのリンクとさまざまなヘルプガイドがあります。

3.2 Overview of the Migration Portal Projects Page

[移行ポータルプロジェクト] ページには、移行に関する詳細情報が表示されます。

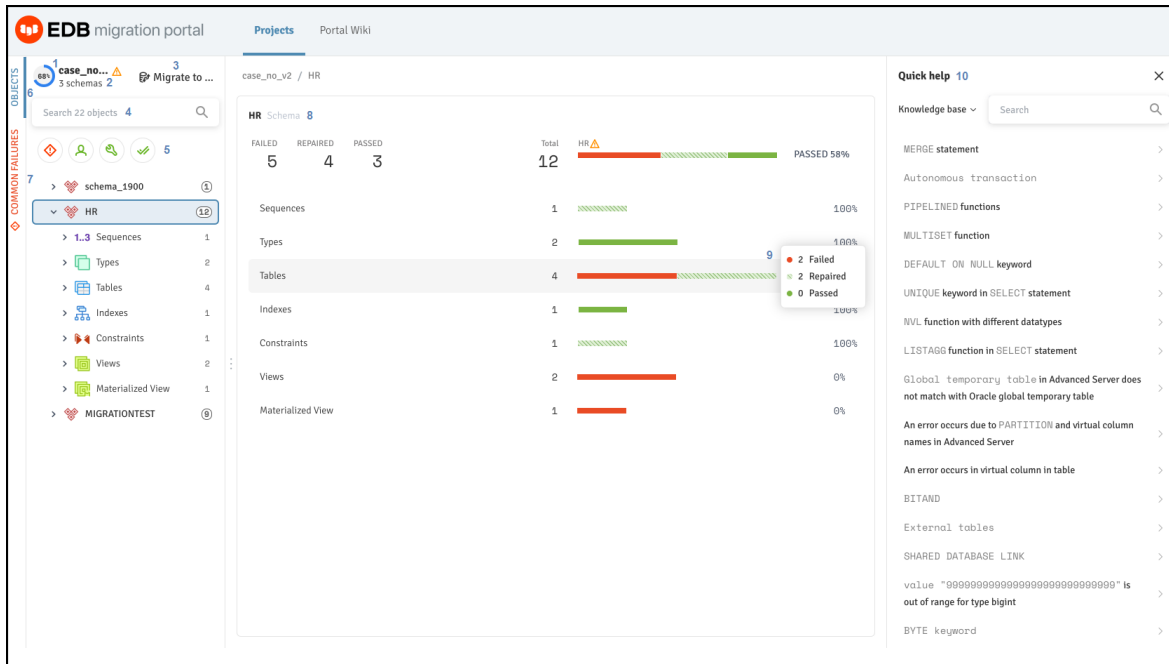


図 4 移行ポータルプロジェクトページの概要

次のリソースを使用して、移行プロジェクトに関する情報を収集します。

1. **Compatible**: Compatible ゲージは、評価されたスキーマの互換性パーセンテージに基づいて色を表示します。
2. **Schema Count**: プロジェクト内のスキーマの数を表示します。
3. **Migrate to**: Migrate to を使用して、スキーマをオンプレミスまたはクラウド上の*EDB Postgres Advanced Server* に移行します。
4. **Search objects**: Search ボックスを使用してオブジェクトを検索します。
5. **Filters**: 「プロジェクト」ページの左パネルからシステム修復および手動修復オブジェクトをフィルタリングできます。さらに、1 つ以上のフィルターの組み合わせを選択して情報を絞り込むことができます。
6. **Objects**: 選択したスキーマのオブジェクトを表示します。
7. **Common Failures**: 選択したスキーマの失敗したオブジェクトの理由を表示します。

注釈: プロジェクトの一般的な失敗の CSV ファイルをダウンロードできます。

8. **Schema**: Schema パネルに評価の結果が表示されます。

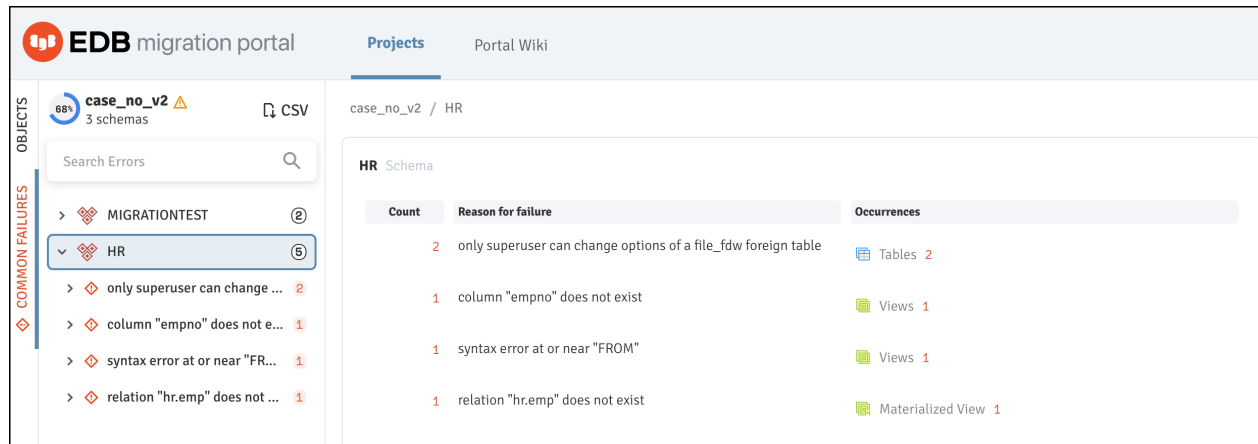


図 5 一般的な障害タブ

9. **Tooltip** :結果セットにカーソルを合わせると、合格、失敗、修復されたオブジェクトの数を示すツールチップが表示されます。
10. **Quick help** :Quick help パネルには、ナレッジベースの記事と修理ハンドラーのドキュメントへのリンクが表示されます。
11. **Search** :Search ボックスを使用して Knowledge base エントリを検索するか、特定の情報についてハンドラーのドキュメントを修復します。

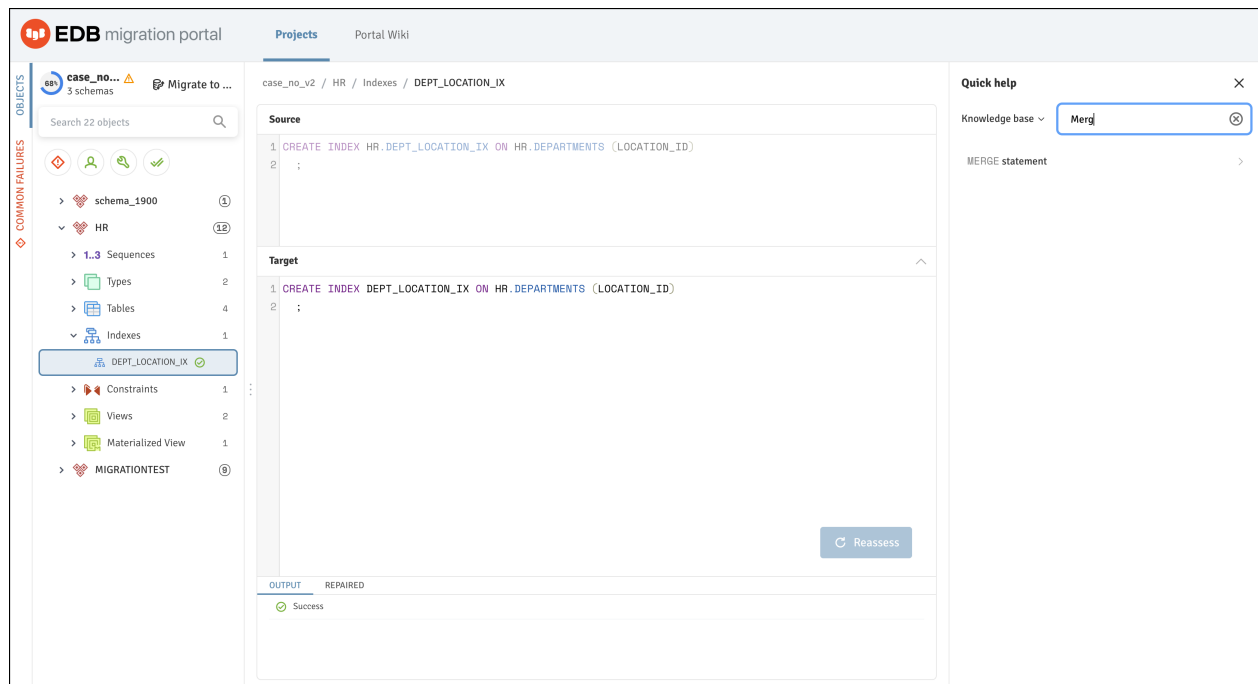


図 6 ナレッジベースエントリの検索。

3.3 Overview of the Migration Portal Wiki Page

ポータル Wiki ページから情報にすばやくアクセスできます。

- 最新情報
- クイックスタートガイド
- スキーマの移行
- データの移行
- DDLExtractor ガイド
- 知識ベース
- 修理ハンドラー
- 移行ポータルユーザーガイド
- よくある質問

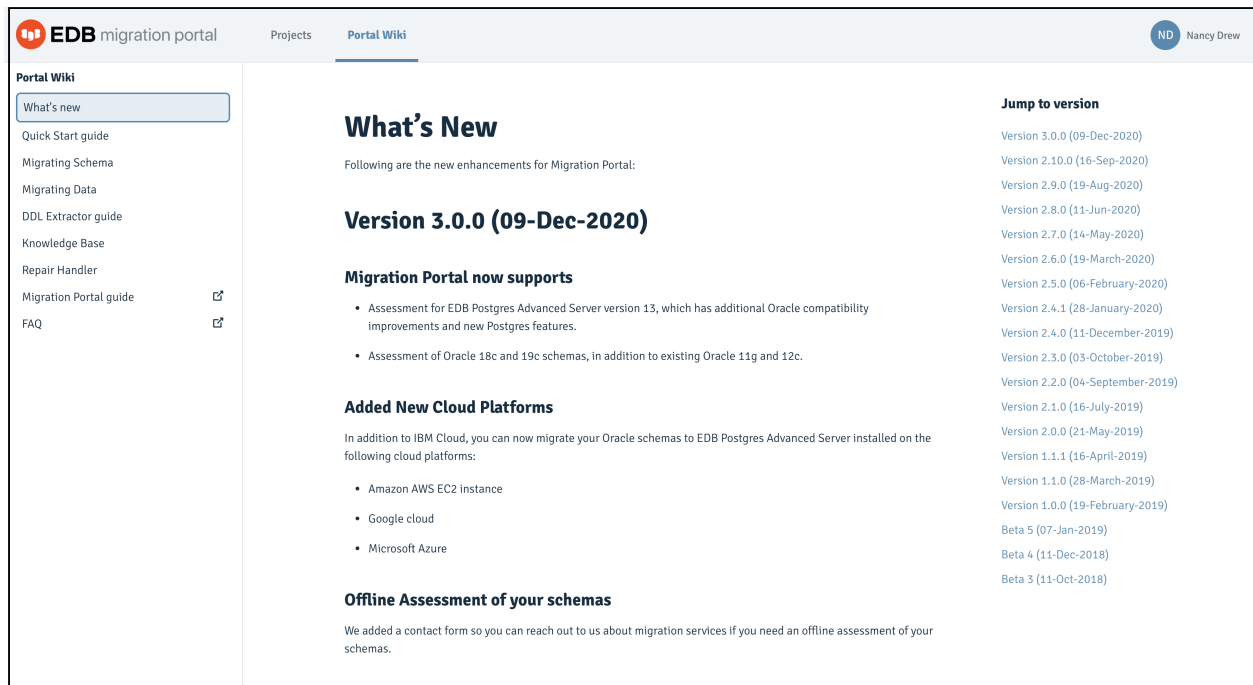


図 7 移行ポータル Wiki ページ。

第 4 章

Migrating a Database

データベースを移行するには、次の手順を完了する必要があります。

1. スキーマ抽出 を実行します。
2. スキーマ評価 を実行します。
3. スキーマ移行 を実行します。
4. データ移行 を実行します。

次のセクションでは、移行プロセスの各ステップに関する詳細情報を提供します。

4.1 Performing a Schema Extraction

Prerequisites

スキーマを抽出する前に、移行ポータルの Projects ページまたはポータル Wiki の DDLExtractor ガイドで提供されているリンクから最新の EDBDDLExtractor スクリプトをダウンロードする必要があります。このスクリプトは、SQLDeveloper または SQL*Plus で実行できます。Oracle の DBMS_METADATA 組み込みパッケージを使用して、スキーマ（スクリプトの実行中に指定）の下にあるさまざまなオブジェクトの DDL を抽出します。EDBDDL エクストラクターは、ポータルにアップロードされ、EDBPostgres の互換性について分析される DDL ファイルを作成します。

注釈:

- このリリースでは、DDL 抽出スクリプトに必要な特権が少なくなりました。現在は、「CONNECT」および「SELECT_CATALOG_ROLE」ロールと「CREATETABLE」権限のみが必要です。
-

For SQL*Plus

1. SQL*Plus に接続してコマンドを実行します。

```
SQL>@edb_ddl_extractor.sql
```

2. スキーマ名と、抽出プログラムが抽出された DDL を保存するパスまたはディレクトリを指定します。複数のスキーマを抽出する場合は、区切り文字としてコンマ（「,」）を使用します。

注釈: 現在のデータベースからすべてのユーザースキーマを抽出する場合は、抽出中にスキーマ名を指定しないでください。ただし、抽出するスキーマ名を記載することをお勧めします。

3. 他のスキーマから依存オブジェクトを抽出する場合は、yes または no を入力します。

For example, on Linux:

```
Enter a comma separated list of schemas to be extracted (Default all
schemas):HR, SCOTT, FINANCE      Location for output file (Default current
location):/home/oracle/extracted_ddls/
```

WARNING:

```
Given schema(s) list may contain objects which are dependent on objects
from other schema(s), not mentioned in the list.  Assessment may fail for
such objects. It is suggested to extract all dependent objects together.
```

```
Extract dependent object from other schemas?(yes/no) (Default no /  
Ignored for all schemas option):yes
```

On Windows:

```
Enter comma separated list of schemas to be extracted (Default all  
schemas):HR, SCOTT, FINANCE      Location for output file (Default current  
location):c:/Users/Example/Desktop/
```

WARNING:

Given schema(s) list may contain objects which are dependent on objects from other schema(s), not mentioned in the list. Assessment may fail for such objects. It is suggested to extract all dependent objects together.

```
Extract dependent object from other schemas?(yes/no) (Default no /  
Ignored for all schemas option):yes
```

For SQL Developer

1. SQL サーバーに接続し、次のコマンドを実行します。

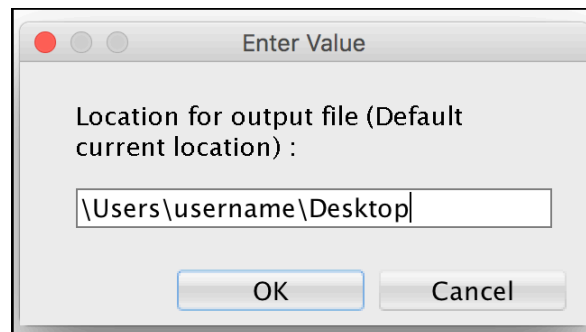


図 1 Linux または Windows のパスを入力します。

2. スキーマのコンマ区切りリストを入力します。

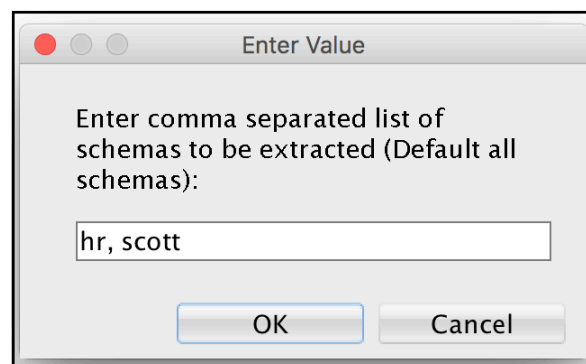


図 2 スキーマのリストを提供します。

3. 出力ファイルのファイルパスを入力します。

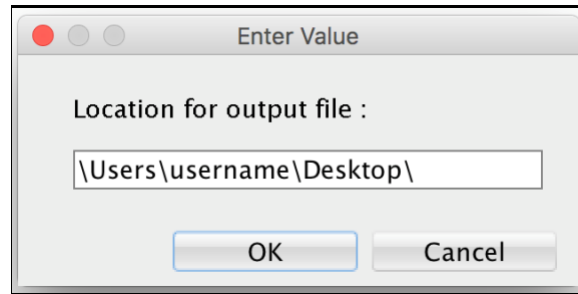


図 3 出力ファイルのパスを指定します。

4. (yes/no) を入力して、依存オブジェクトを抽出します。

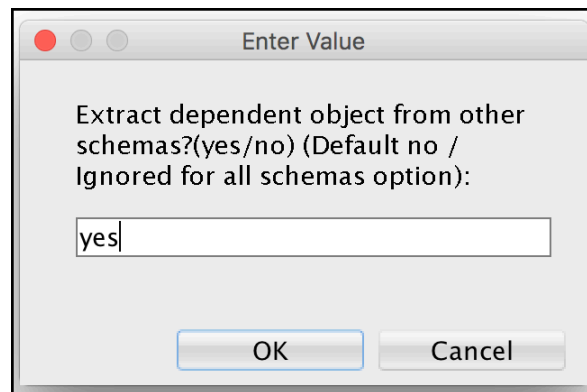


図 4 依存オブジェクトの抽出

Note:SQL* Plus と SQLDeveloper の両方に単一のスキーマ名を入力することもできます。

次に、スクリプトはソースデータベース内のオブジェクトタイプを反復処理し、タスクが完了すると、.SQL 出力は入力された場所、つまり c:/Users/Example/Desktop/ に保存されます。

Additional Notes

- EDBDDLExtractor スクリプトは、Flashback を使用して復元され、BIN\$b54+4XlEYwPgUAB/AQBWwA==\$0 などの名前がまだ残っているオブジェクトを抽出しません。これらのオブジェクトを抽出する場合は、オブジェクトの名前を変更して、抽出プロセスを再実行する必要があります。
- DDLExtractor は、nologging テーブルを通常のテーブルとして抽出します。これらのテーブルが EDB Postgres Advanced Server に移行されると、WAL ログファイルが作成されます。
- DDLExtractor は、スキーマ名とその依存関係情報を格納するグローバル一時テーブルを作成します。これらのテーブルは、抽出が正常に終了すると削除されます。
- PostgreSQL ではサポートされていないため、DDLExtractor スクリプトは名前が `PG\_` で始まるスキーマを抽出しません。これらのスキーマを抽出する場合は、抽出の前にスキーマの名前を変更する必要があります。

4.1.1 サポートされているオブジェクトタイプ

移行ポータルは、次のオブジェクトタイプの移行をサポートしています。

- 同義語
- DB リンク
- タイプとタイプ本体
- シーケンス
- テーブル
- 制約
- インデックス（LOB インデックスとマテリアライズドビューのインデックスを除く）
- 視聴回数
- マテリアライズドビュー
- トリガー
- 機能
- 手続き
- パッケージ

注釈: 列、テーブル、およびマテリアライズドビューに関するコメントもサポートされています。

4.1.2 サポートされていないオブジェクトタイプ

- エディション
- オペレーター
- スケジューラー
- LOB インデックスとマテリアライズドビューのインデックス
- XML スキーマ
- プロフィール
- ロールとオブジェクトの付与

- テーブルスペース
- ディレクトリ
- ユーザー
- RLS ポリシー
- キュー

4.1.3 Oracle システムスキーマ

EDBDDLExtractor スクリプトは、Oracle からの抽出中に次のシステムスキーマを無視します。

ANONYMOUS	APEX_PUBLIC_USER	APEX_030200
APEX_040000	APEX_040000	APPQOSSYS
AUDSYS	BI	CTXSYS
DMSYS	DBSNMP	ディップ
DVF	DVSYs	EXFSYS
FLows_FILES	FLows_020100	GSMADMIN_INTERNAL
GSMCATUSER	GSMUSER	IX
LBACSYS	MDDATA	MDSYS
MGMT_VIEW	OE	OJVMSYS
OLAPSYS	ORDPLUGINS	ORDSYS
ORDDATA	OUTLN	ORACLE_OCM
OWBSYS	OWBYSS_AUDIT	午後
RMAN	SH	SI_INFORMTN_SCHEMA
SPATIAL_CSW_ADMIN_USR	SPATIAL_WFS_ADMIN_USR	SYS
SYSBACKUP	SYSDG	SYSKM
SYSTEM SYSMAN	TSMSYSWKPROXY	WKSYS
WK_TEST	WMSYS	XDB
XS\$NULL		

4.2 Performing a Schema Assessment

EDB Postgres Advanced Server との互換性について Oracle データベーススキーマを評価するには、次のことを行う必要があります。

1. 移行ポータル<<https://migration.enterprisedb.com>>に移動します。
2. EDB 資格情報を入力します。
3. CREATE PROJECT アイコンをクリックして、新しいプロジェクトを作成します。

The 'New project' dialog box is shown with the following details:

- Project name:** A text input field with a placeholder 'e.g. First project'.
- Application interface:** Radio buttons for JDBC (selected), ODBC, .NET, OCI, ProC, and Other.
- Source DB:** A dropdown menu showing 'Oracle'.
- Source Version:** A dropdown menu showing '11g'.
- Target DB:** A dropdown menu showing 'EDB Postgres Advanced Server'.
- Target Version:** A dropdown menu showing '13'.
- DDL file:** A section with a 'No file chosen' status and a 'Choose file' button.
- Add Index Prefix:** An unchecked checkbox with a note: 'Index objects will be prefixed with "idx" as unique names are required for tables and indexes.'
- Description(Optional):** A text area with a placeholder 'Say something about the project...' and a character count '200 characters left'.
- Buttons:** 'Cancel' and 'Create & assess' at the bottom right.

図 5 移行ポータルの新しいプロジェクトのダイアログ。

4. New project ダイアログで、Project name フィールドにプロジェクト名を入力します。
5. プロジェクトの詳細を指定します。
 - Application interface の横にあるラジオボタンを選択します。
 - ソースに Source DB と Version を選択します。
 - ターゲットの Target DB と Version を選択します。
6. Choose file をクリックして、最新の EDBDDLExtractorforOracleDatabase によって生成された .SQL ファイルをアップロードします。

Note :

- .SQL ファイルは変更しないでください。
- 最新の EDBDDExtractor によって生成された .SQL ファイルのみをアップロードできます。

詳細については、[スキーマ抽出](#) セクションを参照してください。

7. EDB Postgres Advanced Server はテーブルとインデックスの同じ名前をサポートしていないため、プロジェクトを作成するときに Add Index Prefix の横のボックスをオンにして、より良い評価結果を確保するためにインデックスプレフィックス (idx) を指定します。

8. Create & assess をクリックして、新しいプロジェクトを作成し、スキーマを評価します。

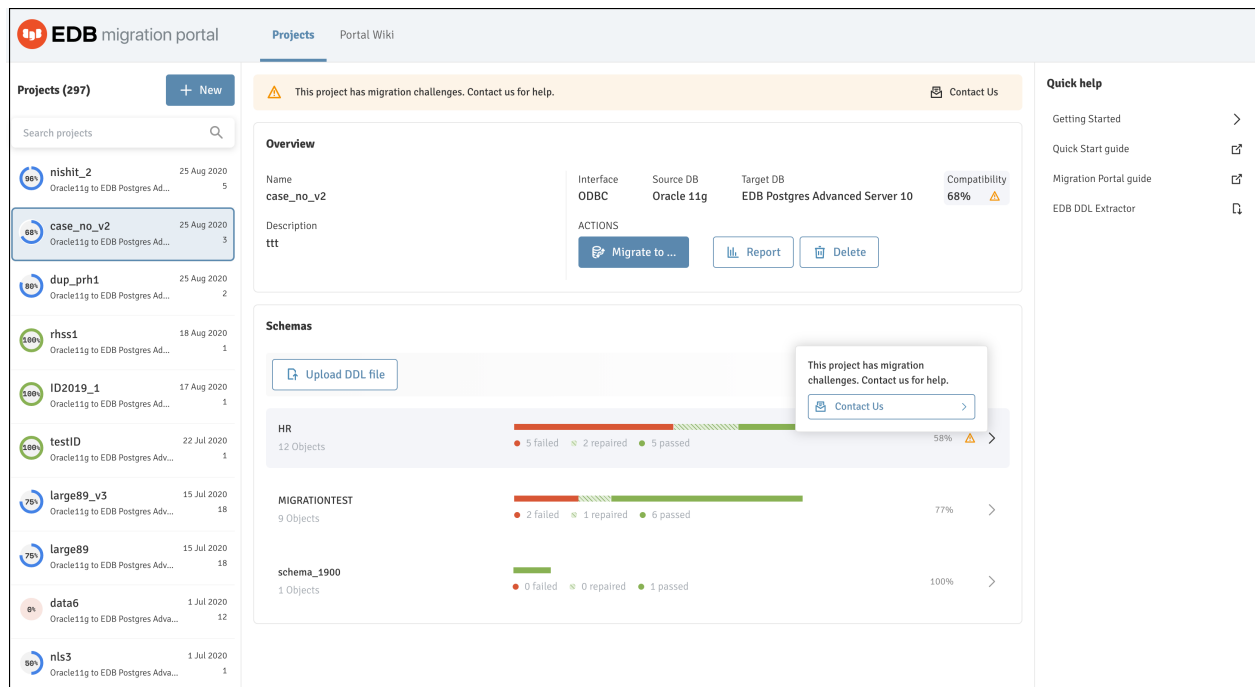


図 6 スキーマ分析結果

分析ツールは、すべての構成要素を確認し、修復アクションを実行して EDB Postgres Advanced Server との互換性を改善し、手動による介入が必要な残りのエラーにフラグを立てます。

9. 100 % の成功率を示さない DDL オブジェクト（たとえば、TABLES）を確認します。
10. EDB Postgres Advanced Server と互換性のないオブジェクトをクリックして、詳細を表示します。中央のパネルの下部で、修復アクションの詳細を表示できます。
11. 右側のパネルのナレッジベース情報を参照して、EDB Postgres Advanced Server とすぐに互換性がないオブジェクトの可能な回避策を見つけてください。ポータル Wiki ページでナレッジベース情報を表示することもできます。

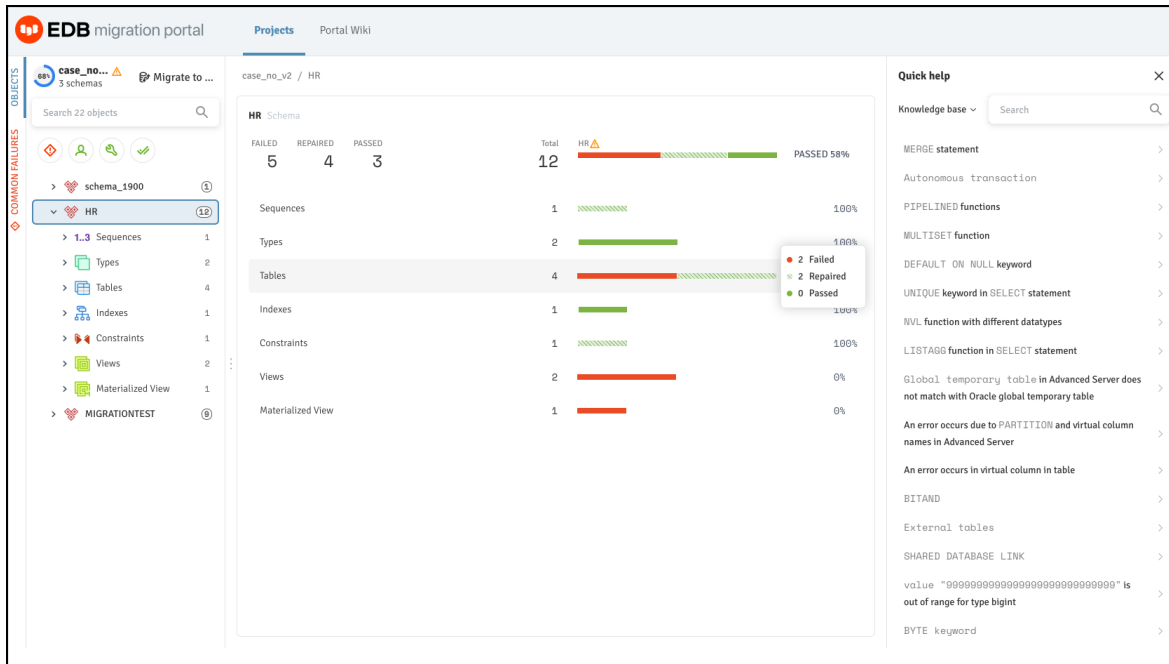


図7 DDL オブジェクトの検証。

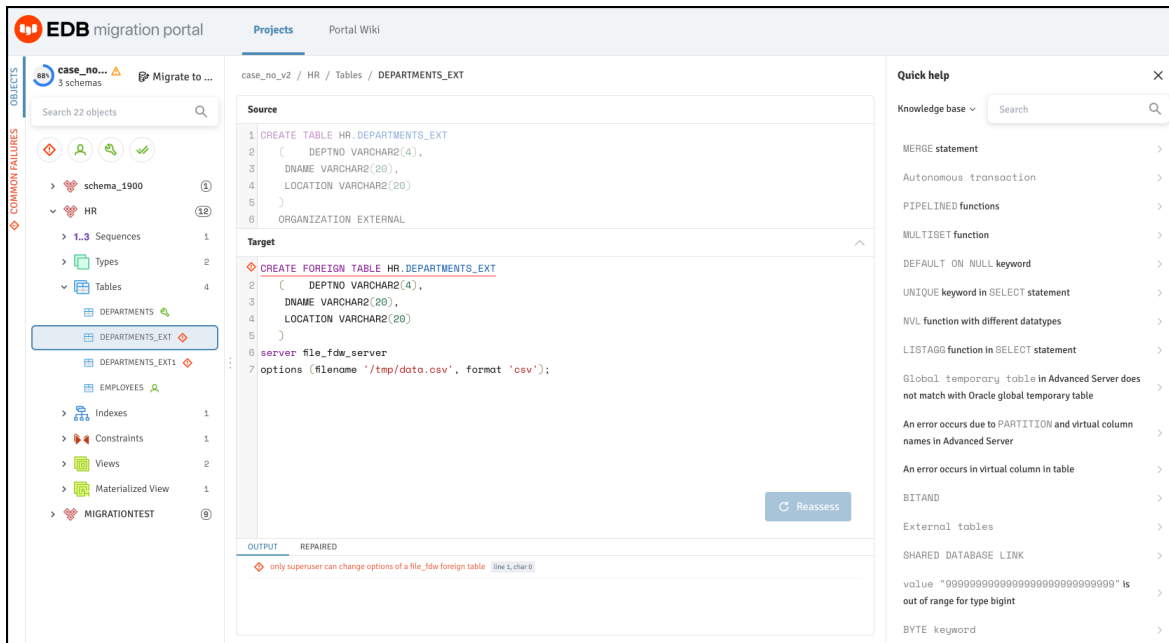


図8 互換性のないオブジェクトが識別されます。

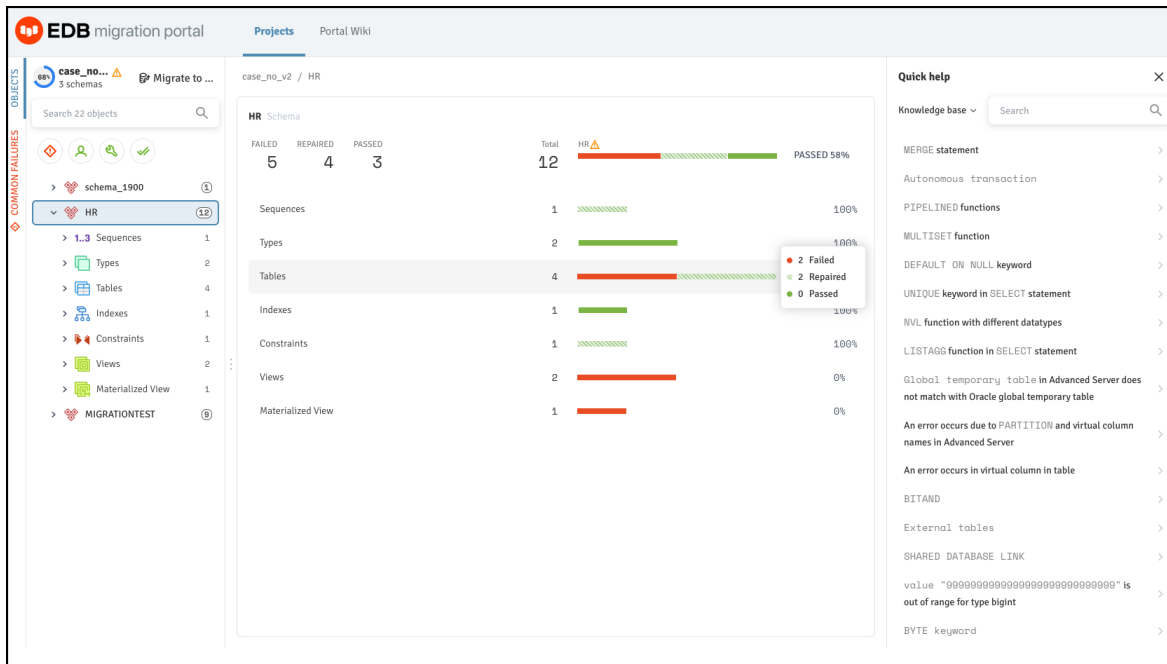


図 9 エラーによる評価結果

12. Knowledge Base タブで、EDB Postgres Advanced Server と互換性のないオブジェクトのエラーメッセージを入力し、Search をクリックします。

オブジェクト詳細パネルには、失敗したオブジェクトの回避策または解決策が表示されます。そのオブジェクトの Assessment タブで手動で変更を行い、Reassess をクリックできます。

Note: 失敗したオブジェクトが再評価中に合格した場合、そのオブジェクトの依存オブジェクトも再評価されます。

同様に、互換性のないすべてのオブジェクトを互換性のあるものにすることができます。

注釈: 互換性のないオブジェクトに関する情報または回避策がナレッジベースで利用できない場合は、サポートチームに連絡してください。

DDL の操作が終了したら、変更された EDB 互換 DDL を .sql ファイルとしてダウンロードするか、スキーマを移行することができます [スキーマ移行](#) を参照してください。

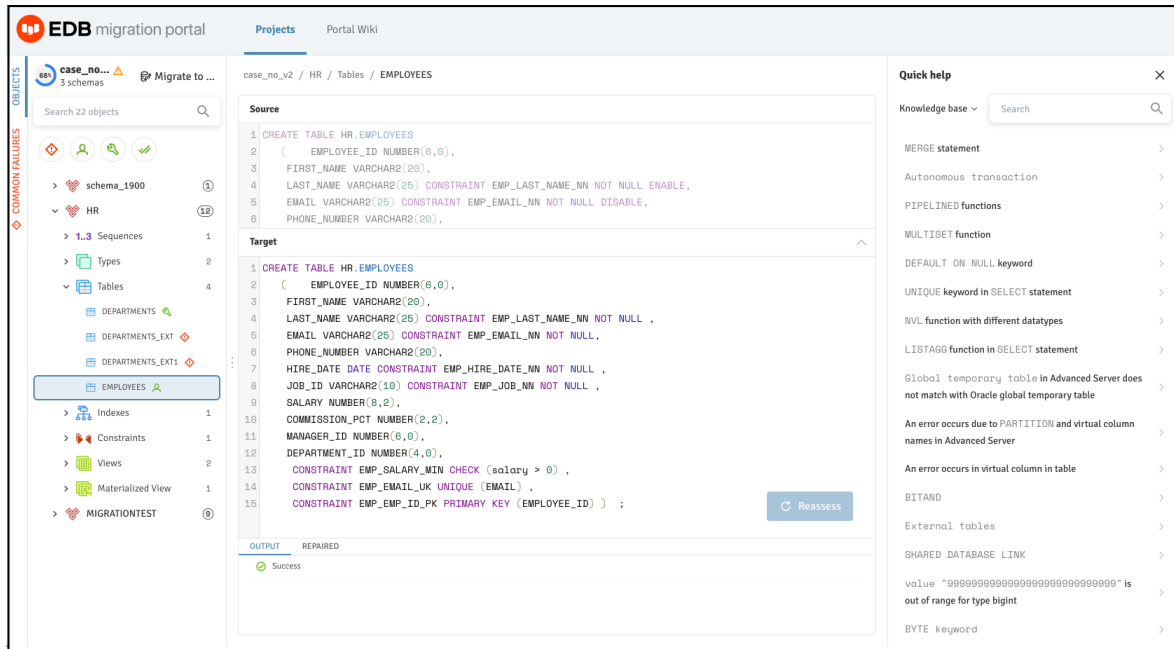


図 10 互換性のないオブジェクトの回避策または解決策

4.2.1 評価レポートの生成

移行ポータルレポート機能は、プロジェクトに対して評価されたスキーマの高レベルの評価概要を提供します。さらに、このレポートは、失敗したオブジェクトと失敗の原因に関する詳細を提供します。

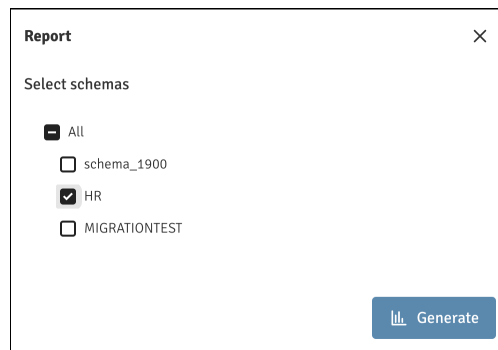


図 11 レポートのスキーマを選択します

レポートを生成するには:

1. Report ボタンをクリックして、スキーマ選択ダイアログにアクセスします。
2. レポートに含めるスキーマを選択します。
3. Generate をクリックして、画面上のレポートを生成します。

オプションで Generate PDF を選択して、レポートを .pdf 形式で保存できます。選択したスキーマの下での DDL に適用された個別の修復ハンドラーの数を表示することもできます。

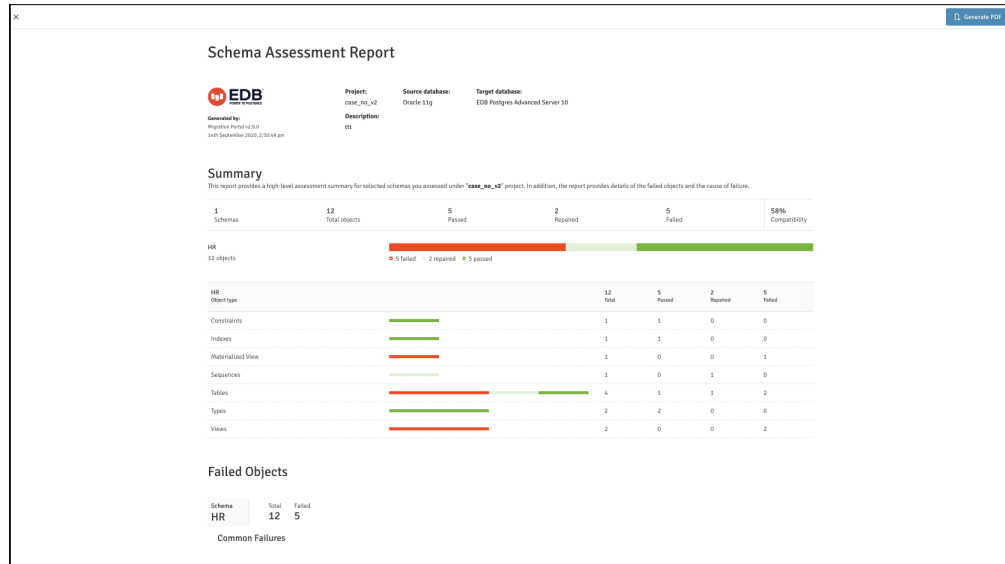


図 12 スキーマ評価レポート

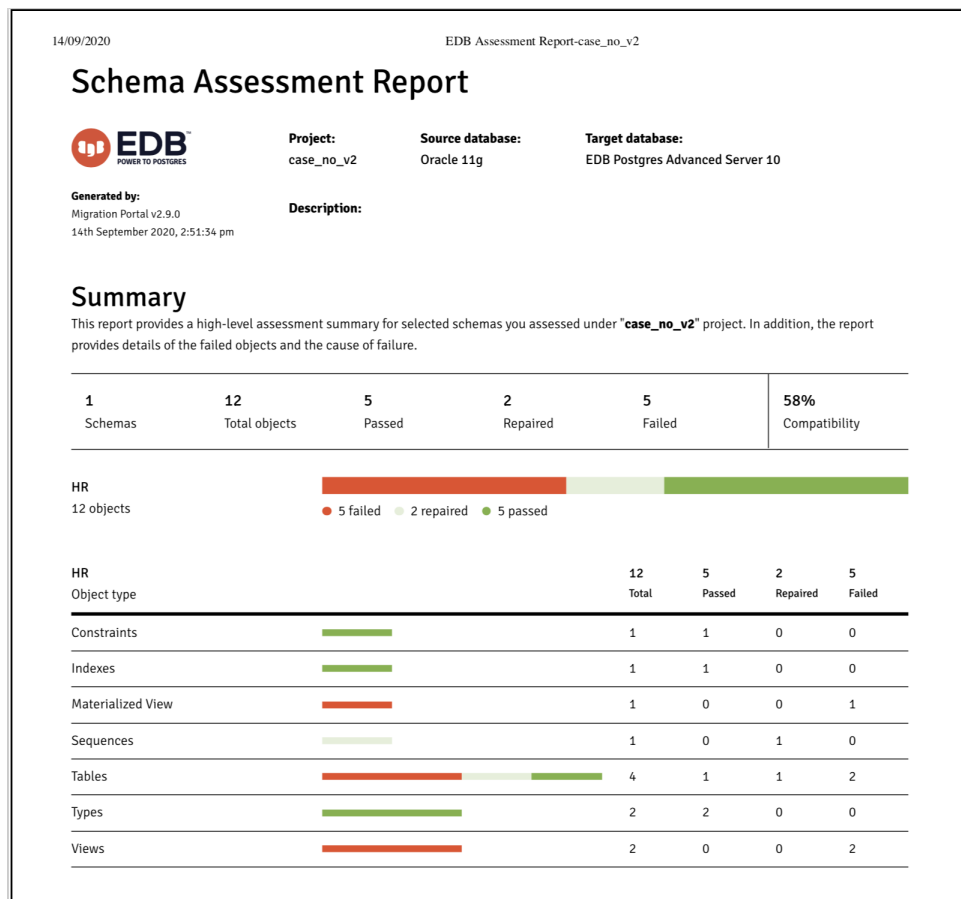


図 13 保存された pdf レポート。

4.3 Schema Migration

スキーマのエラーを解決した後、pgAdmin、ToadEdge、PSQL クライアントなどのクライアントアプリケーションでスキーマを使用するか、スキーマを EDB Postgres Advanced Server に移行できます。

注:EDB Postgres Advanced Server で ToadEdge を使用方法の詳細については、ToadEdge@forPostgres を参照してください。

スキーマを移行するには、次のオプションのいずれかを選択できます。に移行する:

- 既存のオンプレミス EDB Postgres Advanced Server
- 新しいオンプレミス EDB Postgres Advanced Server
- EDB Postgres Advanced Server on Cloud

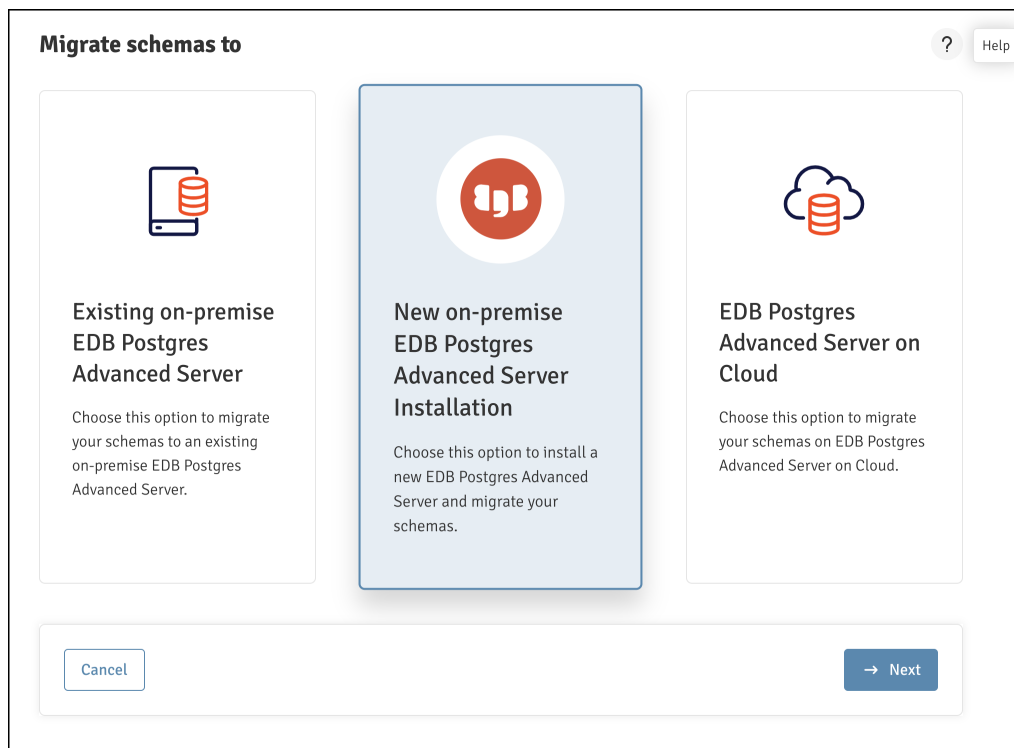


図 14 スキーマ移行のホームページ

4.3.1 既存のオンプレミス EDB Postgres Advanced Server ホストへの移行

Windows または Linux プラットフォーム上の既存のオンプレミス EDB Postgres Advanced Server にスキーマを移行できます。

Windows でのスキーマの移行

1. Existing on-premise EDB Postgres Postgres Advanced Server オプションを選択します:

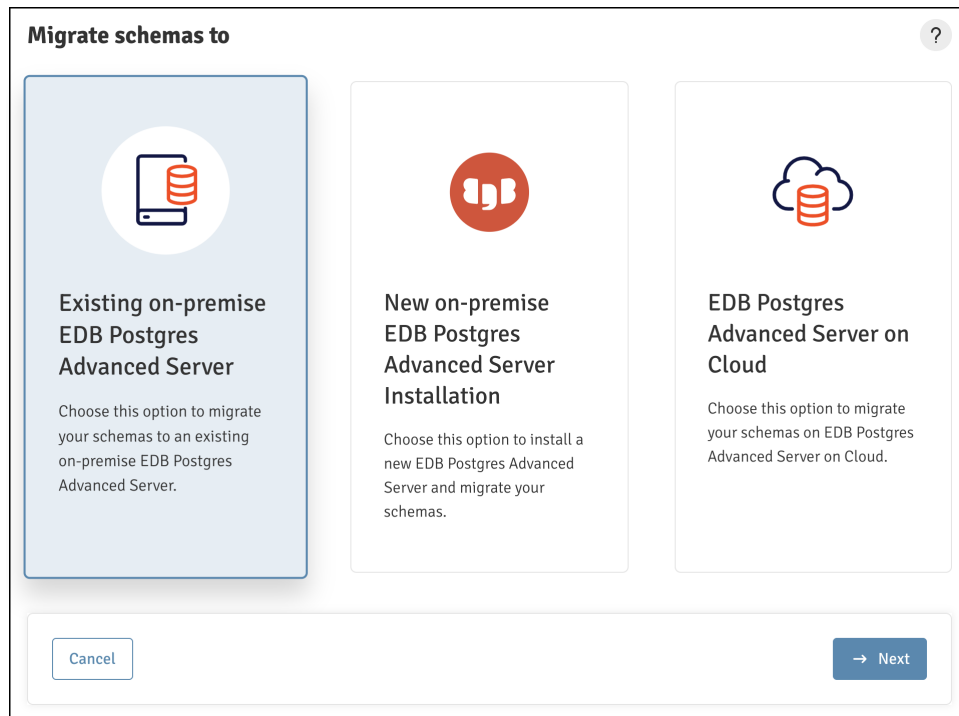


図 15 既存のオンプレミス EDB Postgres Advanced Server ホームページ

2. 1 つ以上のスキーマを選択して、EDB Postgres Advanced Server に移行します。

注釈: スキーマの互換性が 100 %でない場合、次のようにバナーが表示されます。必要な支援が必要な場合は、Contact Us フォームに記入してください。

3. 評価されたスキーマをダウンロードします。
4. Windows をクリックします:
5. スキーマをインポートするには、次のコマンドを実行します。

- CLI で

Migrate schemas to existing on-premise EDB Postgres Advanced Server

1 Select Schemas — 2 Download Schema — 3 Import — 4 Finish

⚠ This project has migration challenges. Contact us for help. [Contact Us](#) ×

Project Name	Interface	Source DB	Target DB	Compatibility
case_no_v2	ODBC	Oracle 11g	EDB Postgres Advanced Server 10	68% ⚠

Select one or more schemas

- ☒ All
- ☐ schema_1900
- ☒ HR
- ☐ MIGRATIONTEST

[Cancel](#) [← Previous](#) [→ Next](#)

図 16 移行するスキーマの選択

Contact Us ×

Your message...

Required project details will be sent along with your message.

☒ By submitting this form, I agree to EDB's Terms & Conditions and Privacy Policy. [Send](#)

図 17 お問い合わせフォーム

```
\i c:\users\...\<project_name>.sql
```

- cmd/shell で

```
edb-psql -f <project_name>.sql
```

Migrate schemas to existing on-premise EDB Postgres Advanced Server

✓ Select Schemas

2 Download Schema

3 Import

4 Finish

Project Name	Interface	Source DB	Target DB	Compatibility
ID2019_1	JDBC	Oracle 11g	EDB Postgres Advanced Server 12	100%

Download the assessed schemas

Download SQL file

Note: Ensure the version number for the EDB Postgres Advanced Server database that you are migrating is 12 (your assessed version).

Cancel

← Previous

→ Next

図 18 評価されたスキーマをダウンロード

Migrate schemas to existing on-premise EDB Postgres Advanced Server

✓ Select Schemas

✓ Download Schema

3 Import

4 Finish

Project Name	Interface	Source DB	Target DB	Compatibility
ID2019_1	JDBC	Oracle 11g	EDB Postgres Advanced Server 12	100%

Import the selected schemas

Run the following command:

Windows

Linux

On CLI

```
edb=# \i c:\users\...\<project_name>.sql
```

On cmd/shell

```
edb-psql -f <project_name>.sql
```

[PSQL Documentation](#) | [Advanced Server Documentation](#)

Use pgAdmin instead.

Cancel

← Previous

→ Next

図 19 Windows オペレーティングシステムの選択

注釈: 代わりに pgAdmin を使用することもできます。

変換されたスキーマは、ターゲットサーバーに移行されます。

Migrate schemas to existing on-premise EDB Postgres Advanced Server

✓ Select Schemas

✓ Download Schema

✓ Import

4 Finish

Project Name ID2019_1	Interface JDBC	Source DB Oracle 11g	Target DB EDB Postgres Advanced Server 12	Compatibility 100%
--------------------------	-------------------	-------------------------	--	-----------------------

Migration Successful

✓

You can view your converted schemas on the target server.

If you cannot see your schemas on the target server or need help to migrate the schemas, contact us.

Contact us

Cancel

← Previous

✓ Done

図 20 成功した移行

4.3. Schema Migration

33

Linux でのスキーマの移行

Linux 上の既存のオンプレミス EDB Postgres Advanced Server にスキーマを移行するには、次の手順を実行します。

1. Existing on-premise EDB Postgres Advanced Server オプションをクリックします。

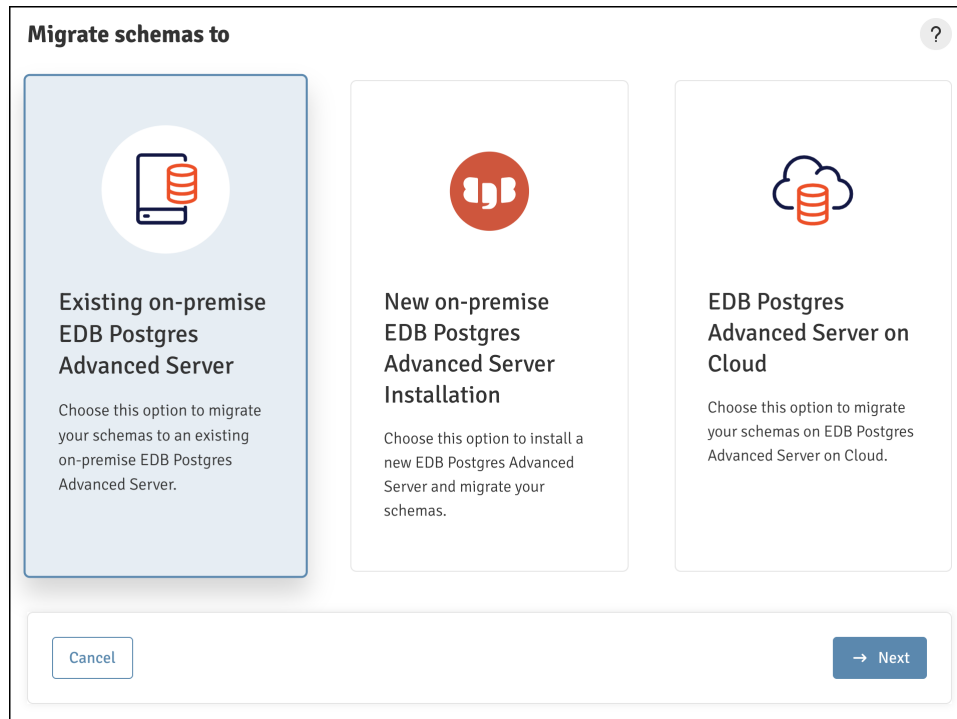


図 21 既存のオンプレミス EDB Postgres Advanced Server ホームページ

2. 1 つ以上のスキーマを選択して、EDB Postgres Advanced Server に移行します。
3. 評価されたスキーマをダウンロードします。
4. Linux をクリックします:
5. スキーマをインポートするには、次の edb-psql クライアントコマンドを呼び出します。

```
sudo su - enterprisedb
edb-psql edb
create database <database_name>;
\\connect <database_name>
\\i <project_name>.sql
```

注釈: オプションで、pgAdmin クライアントをインポートに使用できます。

変換されたスキーマは、ターゲットサーバーに移行されます。

The screenshot shows the first step of a migration wizard. The title is 'Migrate schemas to existing on-premise EDB Postgres Advanced Server'. Below the title is a progress bar with four steps: 1. Select Schemas (active), 2. Download Schema, 3. Import, and 4. Finish. A table at the top displays migration details: Project Name (ID2019_1), Interface (JDBC), Source DB (Oracle 11g), Target DB (EDB Postgres Advanced Server 12), and Compatibility (100%). The main area is titled 'Select one or more schemas' and contains two checked checkboxes: 'All' and 'HR'. At the bottom are 'Cancel', 'Previous', and 'Next' buttons.

Project Name	Interface	Source DB	Target DB	Compatibility
ID2019_1	JDBC	Oracle 11g	EDB Postgres Advanced Server 12	100%

Select one or more schemas

- ☒ All
- ☒ HR

Buttons: Cancel, Previous, Next

図 22 移行するスキーマの選択

The screenshot shows the second step of the migration wizard. The title is 'Migrate schemas to existing on-premise EDB Postgres Advanced Server'. The progress bar now shows Step 1 as completed (with a green checkmark) and Step 2, 'Download Schema', as the active step. The table at the top remains the same. The main area is titled 'Download the assessed schemas' and features a 'Download SQL file' button with a download icon. Below this is a note: 'Note: Ensure the version number for the EDB Postgres Advanced Server database that you are migrating is 12 (your assessed version)'. At the bottom are 'Cancel', 'Previous', and 'Next' buttons.

Download the assessed schemas

[Download SQL file](#)

Note: Ensure the version number for the EDB Postgres Advanced Server database that you are migrating is 12 (your assessed version).

Buttons: Cancel, Previous, Next

図 23 評価されたスキーマをダウンロード

4.3.2 新しいオンプレミス EDB Postgres Advanced Server インストールへの移行

新しい EDB Postgres Advanced Server をオンプレミスで Windows または Linux プラットフォームにインストールし、スキーマを移行できます。

?

✓ Select Schemas

✓ Download Schema

3 Import

4 Finish

Project Name ID2019_1	Interface JDBC	Source DB Oracle 11g	Target DB EDB Postgres Advanced Server 12	Compatibility 100%
--------------------------	-------------------	-------------------------	--	-----------------------

Import the selected schemas

Run the following command:

Windows

Linux

Run the following command on Terminal

```

shell=$ sudo su - enterprisedb
shell=$ edb-psql edb
edb=# create database <database_name>;
edb=# \connect <database_name>
database_name=# \i <project_name>.sql

```

[PSQL Documentation](#) | [Advanced Server Documentation](#)

Use pgAdmin instead.

Cancel

← Previous

→ Next

図 24 Linux オペレーティングシステムの選択

?

✓ Select Schemas

✓ Download Schema

✓ Import

4 Finish

Project Name ID2019_1	Interface JDBC	Source DB Oracle 11g	Target DB EDB Postgres Advanced Server 12	Compatibility 100%
--------------------------	-------------------	-------------------------	--	-----------------------

Migration Successful

✓

You can view your converted schemas on the target server.

If you cannot see your schemas on the target server or need help to migrate the schemas, contact us.

Contact us

Cancel

← Previous

✓ Done

図 25 スキーマ移行の成功

Windows でのスキーマの移行

Windows で新しいオンプレミス EDB Postgres Advanced Server にスキーマを移行するには、次の手順を実行します。

1. New on-premise EDB Postgres Postgres Advanced Server オプションをクリックします。

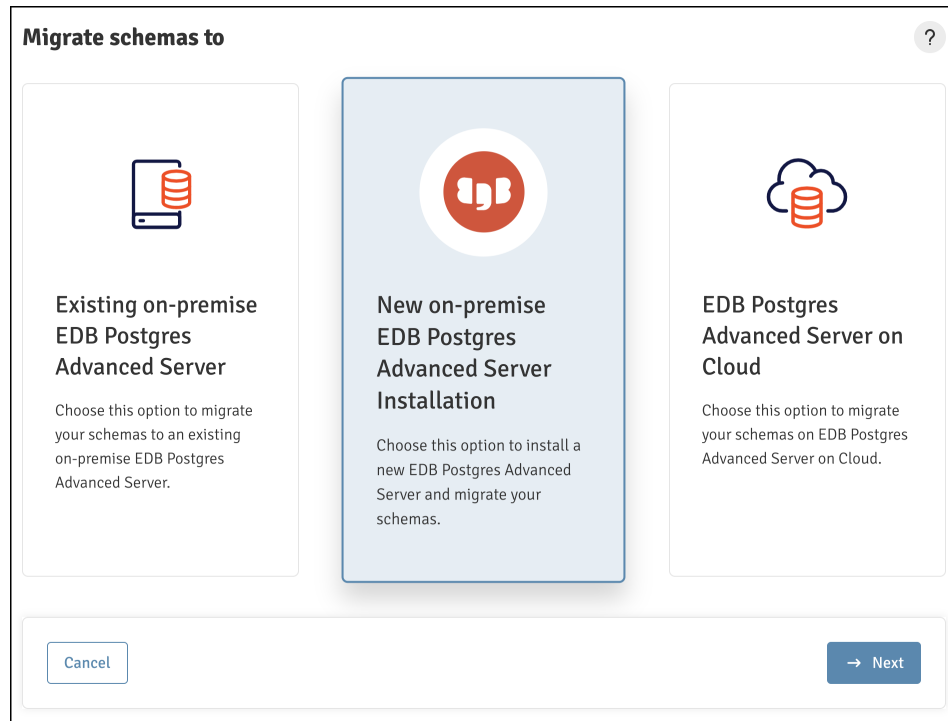


図 26 新しいオンプレミス EDB Postgres Advanced Server ホームページ

2. EDB Postgres Advanced Server で移行する 1 つ以上のスキーマを選択します。
3. Windows オペレーティングシステムを選択します。
4. Windows Installer をダウンロードします。
5. インストール手順については、EDBPostgres™AdvancedServerInstallationGuideforWindows をクリックしてください。
6. 評価されたスキーマをダウンロードします。
7. 次のコマンドを実行して、スキーマをインポートできます。

- CLI で

```
\i c:\users\...\<project_name>.sql
```

- cmd/shell で

The screenshot shows the first step of a migration wizard. At the top, the title is 'Migrate schemas to new on-premise EDB Postgres Advanced Server Installation' with a help icon. Below the title is a progress bar with four steps: 1. Select Schemas (active), 2. Select Platform, 3. Get EDB Postgres Advanced Server, and 4. Install EDB Postgres Advanced Server. Below the progress bar is a table with the following data:

Project Name	Interface	Source DB	Target DB	Compatibility
ID2019_1	JDBC	Oracle 11g	EDB Postgres Advanced Server 12	100%

Below the table, the text 'Select one or more schemas' is followed by two checked checkboxes: 'All' and 'HR'. At the bottom, there are three buttons: 'Cancel', 'Previous', and 'Next'.

図 27 移行するスキーマの選択

The screenshot shows the second step of the migration wizard. The title and progress bar are the same as in the previous step, but the second step 'Select Platform' is now active. Below the progress bar is the same table as in the previous step. Below the table, the text 'Select the Operating System/Platform' is followed by two radio button options: 'Windows 64-bit' (selected) and 'Linux 64-bit'. At the bottom, there are three buttons: 'Cancel', 'Previous', and 'Next'.

図 28 Windows オペレーティングシステムの選択

```
edb-psql -f <project_name>.sql
```

注釈: 代わりに pgAdmin を使用することもできます。

スキーマがターゲットサーバーに移行されます。

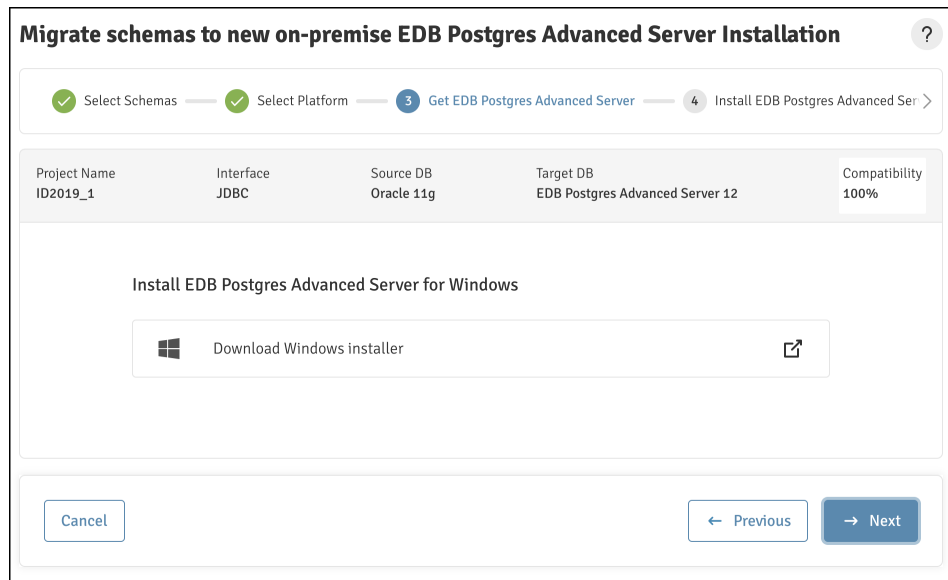


図 29 Windows インストーラーのダウンロード

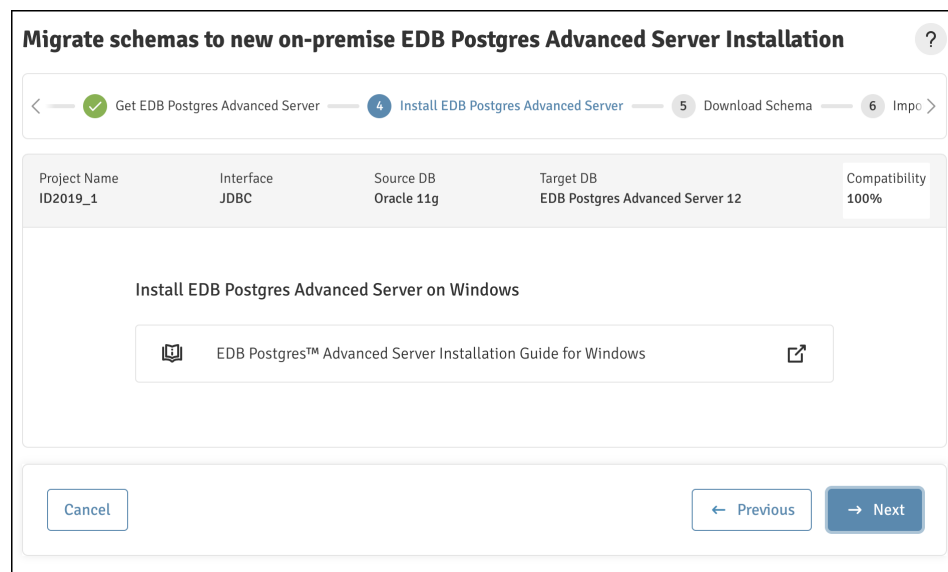


図 30 Windows インストールガイドを表示

Migrate schemas to new on-premise EDB Postgres Advanced Server Installation ?

< Postgres Advanced Server — Install EDB Postgres Advanced Server — **5 Download Schema** — 6 Import — 7 Finish

Project Name	Interface	Source DB	Target DB	Compatibility
ID2019_1	JDBC	Oracle 11g	EDB Postgres Advanced Server 12	100%

Download the assessed schemas

Download SQL file

Note: Ensure the version number for the EDB Postgres Advanced Server database that you are migrating is 12 (your assessed version).

Cancel

< Previous

→ Next

図 31 評価済みファイルのダウンロード

Migrate schemas to new on-premise EDB Postgres Advanced Server Installation ?

< Postgres Advanced Server — Install EDB Postgres Advanced Server — Download Schema — **6 Import** — 7 Finish

Project Name	Interface	Source DB	Target DB	Compatibility
ID2019_1	JDBC	Oracle 11g	EDB Postgres Advanced Server 12	100%

Import schemas into EDB Postgres Advanced Server

On CLI

```
edb=# \i c:\users\...\<project_name>.sql
```

On cmd/shell

```
edb-psql -f <project_name>.sql
```

[PSQL Documentation](#) | [Advanced Server Documentation](#)

Use pgAdmin instead.

Cancel

< Previous

→ Next

図 32 スキーマを EDB Postgres Advanced Server にインポート

Migrate schemas to new on-premise EDB Postgres Advanced Server Installation

< EDB Postgres Advanced Server
✓ Install EDB Postgres Advanced Server
✓ Download Schema
✓ Import
7 Finish

Project Name ID2019_1	Interface JDBC	Source DB Oracle 11g	Target DB EDB Postgres Advanced Server 12	Compatibility 100%
--------------------------	-------------------	-------------------------	--	-----------------------

Migration Successful

You can view your converted schemas on the target server.

If you cannot see your schemas on the target server or need help to migrate the schemas, contact us.

[Contact us](#)

[Cancel](#)
[← Previous](#)
[✓ Done](#)

Linux でのスキーマの移行

スキーマを Linux のオンプレミス EDB Postgres Advanced Server に移行するには、次の手順を実行します。

1. New On-premise EDB Postgres Advanced Server オプションをクリックします。
2. EDB Postgres Advanced Server で移行する 1 つ以上のスキーマを選択します。
3. Linux オペレーティングシステムを選択します。
4. 次のオプションのいずれかを選択して、EDB Postgres Advanced Server をインストールできます。
 - リポジトリ
 - その他のオプション
5. インストール手順の詳細については、Linux の EDB Postgres™ Advanced Server Installation Guide をクリックしてください。
6. 評価されたスキーマをダウンロードします。
7. スキーマをインポートするには、次のコマンドを実行します。

```
sudo su - enterprisedb
edb-psql edb
create database <database_name>;
\connect <database_name>
\i <project_name>.sql
```

Migrate schemas to

Existing on-premise EDB Postgres Advanced Server

Choose this option to migrate your schemas to an existing on-premise EDB Postgres Advanced Server.

New on-premise EDB Postgres Advanced Server Installation

Choose this option to install a new EDB Postgres Advanced Server and migrate your schemas.

EDB Postgres Advanced Server on Cloud

Choose this option to migrate your schemas on EDB Postgres Advanced Server on Cloud.

Cancel

→ Next

図 33 スキーマのホームページの移行

Migrate schemas to new on-premise EDB Postgres Advanced Server Installation

1 Select Schemas

2 Select Platform

3 Get EDB Postgres Advanced Server

4 Install EDB Postgres Advanced Ser

Project Name	Interface	Source DB	Target DB	Compatibility
ID2019_1	JDBC	Oracle 11g	EDB Postgres Advanced Server 12	100%

Select one or more schemas

☒ All
 ☒ HR

Cancel

← Previous

→ Next

図 34 移行するスキーマの選択

Migrate schemas to new on-premise EDB Postgres Advanced Server Installation ?

✓ Select Schemas — 2 Select Platform — 3 Get EDB Postgres Advanced Server — 4 Install EDB Postgres Advanced Ser >

Project Name ID2019_1	Interface JDBC	Source DB Oracle 11g	Target DB EDB Postgres Advanced Server 12	Compatibility 100%
--------------------------	-------------------	-------------------------	--	-----------------------

Select the Operating System/Platform

☐ Windows 64-bit 

☒ Linux 64-bit 

図 35 Linux オペレーティングシステムの選択

Migrate schemas to new on-premise EDB Postgres Advanced Server Installation ?

✓ Select Schemas — ✓ Select Platform — 3 Get EDB Postgres Advanced Server — 4 Install EDB Postgres Advanced Ser >

Project Name ID2019_1	Interface JDBC	Source DB Oracle 11g	Target DB EDB Postgres Advanced Server 12	Compatibility 100%
--------------------------	-------------------	-------------------------	--	-----------------------

Install EDB Postgres Advanced Server for Linux

 Repository 

... More options 

図 36 Linux リポジトリの選択

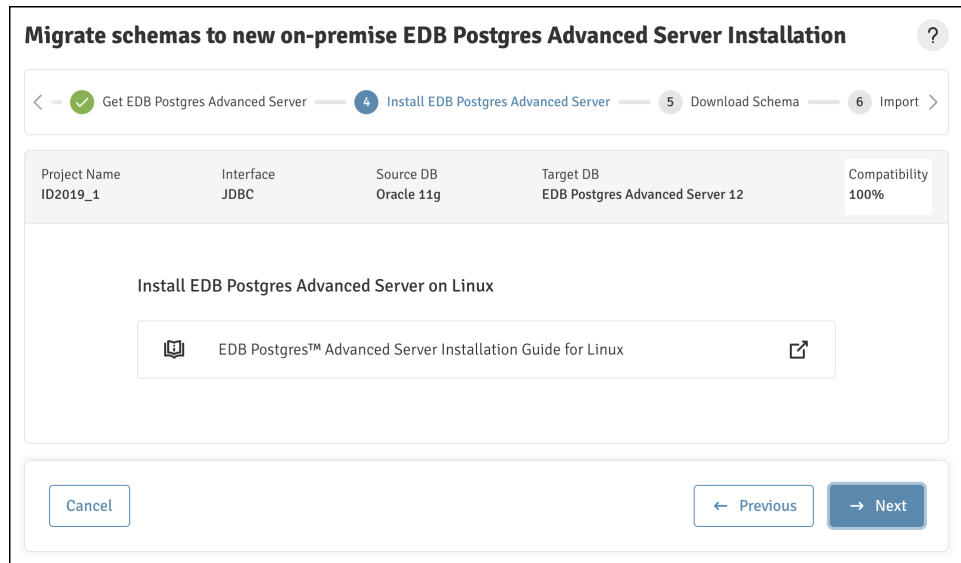


図 37 Linux インストールガイドの選択

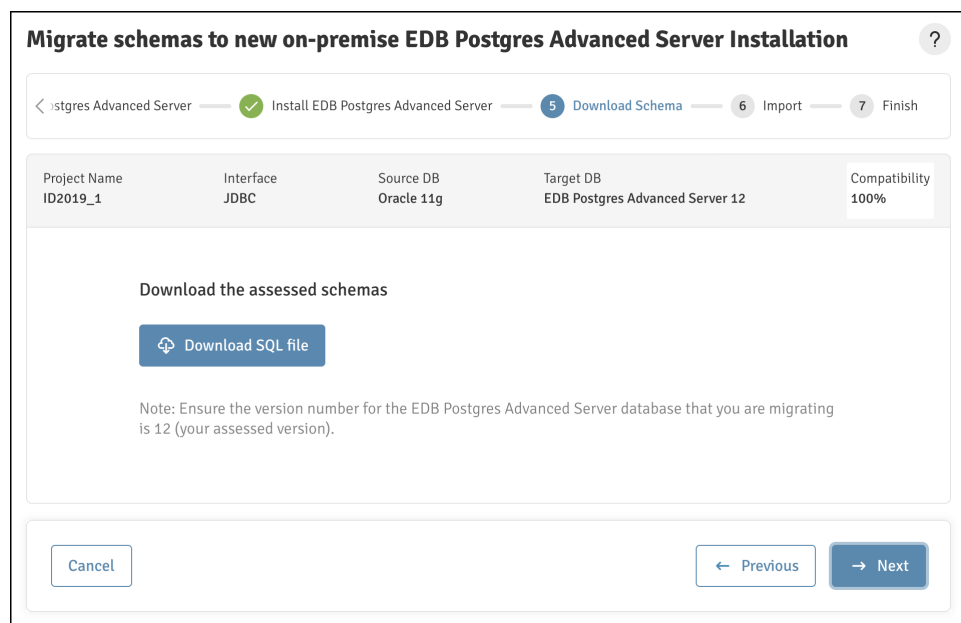


図 38 評価されたスキーマのダウンロード

注釈: 代わりに pgAdmin を使用することもできます。

変換されたスキーマは、ターゲットサーバーに移行されます。

Migrate schemas to new on-premise EDB Postgres Advanced Server Installation

< Importgres Advanced Server
✓ Install EDB Postgres Advanced Server
✓ Download Schema
6 Import
7 Finish

Project Name ID2019_1	Interface JDBC	Source DB Oracle 11g	Target DB EDB Postgres Advanced Server 12	Compatibility 100%
--------------------------	-------------------	-------------------------	--	-----------------------

Import schemas into EDB Postgres Advanced Server

Run the following command on Terminal

```

shell=$ sudo su - enterprisedb
shell=$ edb-psql edb
edb=# create database <database_name>;
edb=# \connect <database_name>
database_name=# \i <project_name>.sql

```

[PSQL Documentation](#) | [Advanced Server Documentation](#)

Use [pgAdmin](#) instead.

Cancel
← Previous
→ Next

図 39 スキーマを EDB Postgres Advanced Server にインポート

Migrate schemas to new on-premise EDB Postgres Advanced Server Installation

< Importgres Advanced Server
✓ Install EDB Postgres Advanced Server
✓ Download Schema
✓ Import
7 Finish

Project Name ID2019_1	Interface JDBC	Source DB Oracle 11g	Target DB EDB Postgres Advanced Server 12	Compatibility 100%
--------------------------	-------------------	-------------------------	--	-----------------------

Migration Successful

You can view your converted schemas on the target server.

If you cannot see your schemas on the target server or need help to migrate the schemas, contact us.

Contact us

Cancel
← Previous
✓ Done

図 40 スキーマ移行の成功

4.3.3 クラウドへの移行

EDB Postgres Advanced Server のスキーマをクラウドに移行するには、次の手順を実行します。

1. EDB Postgres Advanced Server on Cloud オプションをクリックします:

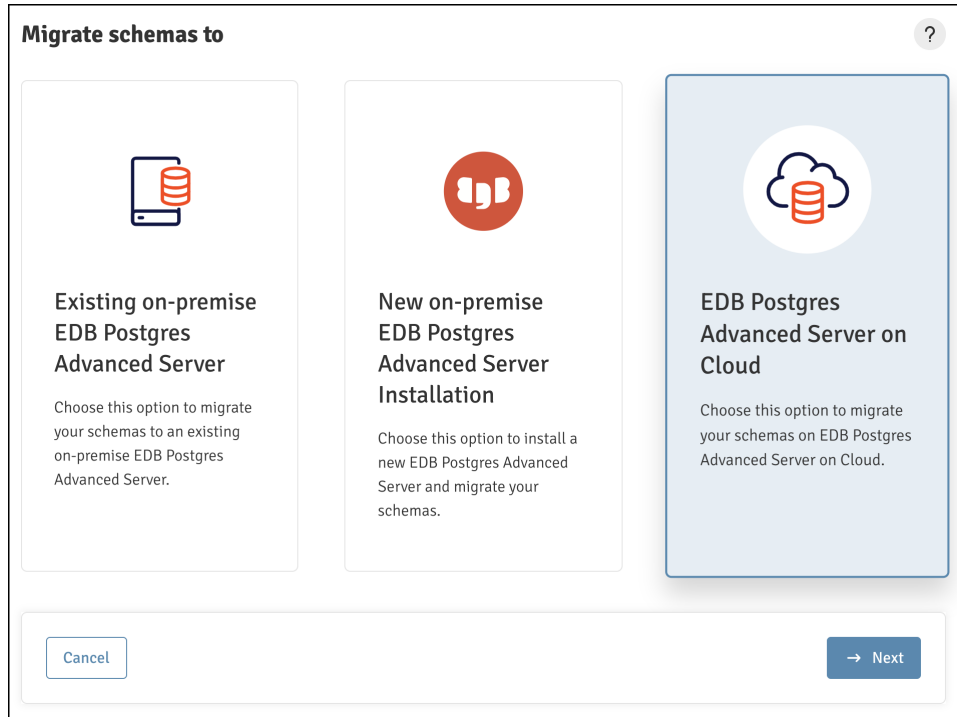


図 41 クラウド上の EDB Postgres Advanced Server

2. 1 つ以上のスキーマを選択して、EDB Postgres Advanced Server に移行します。
3. クラウドプラットフォームを選択します。たとえば、IBM Cloud:
4. 新しいクラスターを起動するには、Go to Cloud をクリックします。

または、既存のクラスターを実行している場合は、Next をクリックします。

5. Connect ページで必要な接続の詳細を入力します。

注釈: Edit Connection をクリックして、接続の詳細を変更し、接続の詳細を再テストできます。

7. Test Connection をクリックして、接続の詳細を確認します。
8. 接続が成功したら、Next をクリックします。

変換されたスキーマは、ターゲットサーバーに移行されます。

Migrate schemas to EDB Postgres Advanced Server on Cloud ?

1 Select Schemas — 2 Select Platform — 3 Launch Cluster — 4 Connect — 5 Deploy — 6 Finish

Project Name ID2019_1	Interface JDBC	Source DB Oracle 11g	Target DB EDB Postgres Advanced Server 12	Compatibility 100%
--------------------------	-------------------	-------------------------	--	-----------------------

Select one or more schemas

☒ All
☒ HR

Cancel Previous Next

図 42 移行するスキーマの選択

Migrate your schemas to the cloud ?

✓ Select Schemas — 2 Select Platform — 3 Launch Cluster — 4 Connect — 5 Deploy — 6 Finish

Project Name HumanResources	Interface JDBC	Source DB Oracle 11g	Target DB EDB Postgres Advanced Server 12	Compatibility 100%
--------------------------------	-------------------	-------------------------	--	-----------------------

Select the Cloud Platform

☒ IBM Cloud

☐ AWS

☐ Google Cloud

☐ Microsoft Azure

Cancel Previous Next

図 43 移行用のクラウドオプションの選択

Migrate schemas to EDB Postgres Advanced Server on Cloud

Progress: 1. Select Schemas (checked), 2. Select Platform (checked), 3. Launch Cluster (active), 4. Connect, 5. Deploy, 6. Finish

Project Name	Interface	Source DB	Target DB	Compatibility
ID2019_1	JDBC	Oracle 11g	EDB Postgres Advanced Server 12	100%

Launch new IBM™ Cloud cluster

Navigate to IBM™ Cloud to launch a new cluster.

[→ Go to IBM™ Cloud](#)

Note: If you have an existing cluster running, click Next.

[Cancel](#) [← Previous](#) [→ Next](#)

図 44 クラウドクラスターの起動

Migrate schemas to EDB Postgres Advanced Server on Cloud

Progress: 1. Select Schemas (checked), 2. Select Platform (checked), 3. Launch Cluster (checked), 4. Connect (active), 5. Deploy, 6. Finish

Project Name	Interface	Source DB	Target DB	Compatibility
ID2019_1	JDBC	Oracle 11g	EDB Postgres Advanced Server 12	100%

Connect to IBM™ Cloud cluster

Target Database

Host Name/Address Port

Note: Ensure that your database server is accessible from Migration Portal.

Maintenance Database

Username

Password

[Cancel](#) [← Previous](#) [→ Next](#)

図 45 クラウドクラスターへの接続

Migrate schemas to EDB Postgres Advanced Server on Cloud

Progress: Select Schemas — Select Platform — Launch Cluster — **4 Connect** — 5 Deploy — 6 Finish

Project Name	Interface	Source DB	Target DB	Compatibility
ID2019_1	JDBC	Oracle 11g	EDB Postgres Advanced Server 12	100%

Target Database
ID2019_1

Host Name/Address **Port**
52.5.148.59 9999

Maintenance Database
dmp_exec

Note: Deployment will create a new database **ID2019_1** on target server, if the database does not exist.
Ensure that all schemas have a 100% success ratio before deployment.
Existing schemas with similar names will be dropped during deployment.

[Edit Connection](#)

[Cancel](#) [← Previous](#) [Next →](#)

図 46 接続の詳細を確認

4.4 Data Migration

スキーマの移行を実行した後、次の手順を実行してデータを移行します。

1. MigrationToolkit を使用してデータを移行します。MigrationToolkit の使用に関する詳細については、「MigrationToolkitGuide<<https://www.enterprisedb.com/edb-docs/p/edb-postgres-migration-toolkit>>」_を参照してください。
2. MigrationToolkit の toolkit.properties ファイルを構成し、ソースデータベースとターゲットデータベースの接続情報がプロパティファイルで利用できることを確認します。

```
SRC_DB_URL = jdbc: oracle:thin:@localhost:1521:ORCL
SRC_DB_USER = user_name
SRC_DB_PASSWORD = password
TARGET_DB_URL= jdbc:edb://localhost:5444/migration
TARGET_DB_USER = enterprisedb
TARGET_DB-PASSWORD = password
```

詳細については、「toolkit.properties ファイルの構築<https://www.enterprisedb.com/edb-docs/d/edb-postgres-migration-toolkit/user-guides/user-guide/53.0.1/building_toolkit>」を参照してください.proper-

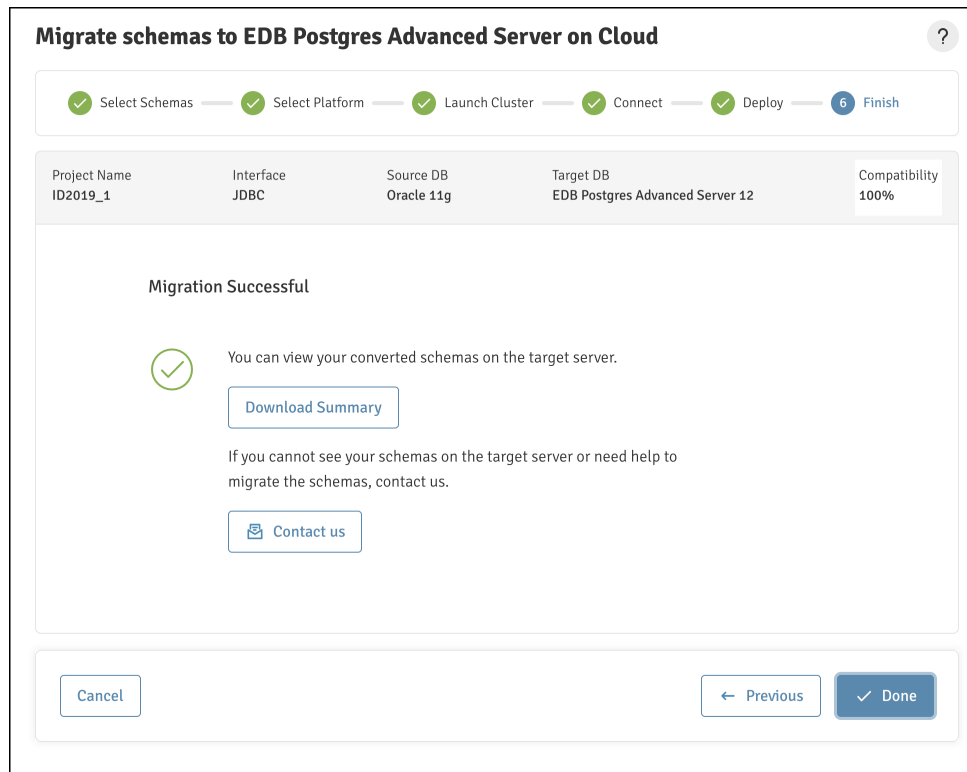


図 47 成功した移行

ties_file.html>`_。

3. `-dataOnly` モードで移行ツールキットを呼び出します。 `-truncLoad` キーワードを含めて、テーブル間の外部キーの依存関係を解決します。

たとえば、次のコマンドは、 `hr` という名前のスキーマにデータを移行します。

```
runMTK.sh -dataOnly -targetSchema hr -truncLoad HR
```

このコマンドは、指定された `source_schema` を `target_schema` に移行します。データは、`enterprisedb` という名前のデータベーススーパーユーザーと `password` というパスワードを使用して、ローカルにインストールされた EDBPostgres インスタンスにロードされます。

Note :データのロードを試行する前にテーブルが切り捨てられます。

第 5 章

Advanced Data Migration

並列データロードを必要とする大規模なデータベースでは、次のいずれかの方法を使用できます。

- EDB Postgres Advanced Server データベースリンク機能を使用します（Oracle データベースとの互換性のため）。

または

- Dblink またはデータベースリンクスタイルの移行を使用します（データに CLOB データが含まれる場合）。

詳細については、「MigrationToolkitGuide<<https://www.enterprisedb.com/edb-docs/p/edb-postgres-migration-toolkit>>」__を参照してください。

第 6 章

Conclusion

移行ポータルユーザーガイド

著作権 ©2019-2020EnterpriseDBCorporation。無断複写・転載を禁じます。

EnterpriseDB®Corporation34CrosbyDrive、Suite201、Bedford、MA01730、USA

T+17813573390F+19784671307Einfo@enterprisedb.comwww.enterprisedb.com

- EnterpriseDB および PostgresEnterpriseManager は、EnterpriseDBCorporation の登録商標です。EDB および EDBPostgres は、EnterpriseDBCorporation の商標です。Oracle は、Oracle、Inc の登録商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標です。
- EDB は、存在する場合、EDBPostgres 製品のログオン UI の設計、コーディングのベストプラクティスの確立、レビュー、および入力検証の検証を行います。EDB は追加の入力コンポーネントに対して同じアプローチに従いますが、製品の性質上、限定された検証が可能な信頼できるユーザーによって入力および送信されるフリーフォーム SQL、WMI またはその他の文字列を受け入れる必要がある場合があります。このような場合、ユーザーが誤った入力や危険な入力を禁止することはできません。
- EDB は、将来、認証された信頼できるユーザーからのフリーフォーム SQL、WMI またはその他の潜在的に危険な入力を受け入れる製品に機能を追加する権利を留保しますが、そのような機能はすべて、可能な限り最小のリスクを提供するように設計およびテストされます可能であれば、スーパーユーザーまたは同等の特権が必要です。
- EDB は、すべての潜在的な脅威を予測できることを保証しないため、すべての潜在的な脆弱性が対処または検討されたことを完全に保証することはできません。

索引

Advanced Data Migration, 51

Conclusion, 53

Data Migration, 49

knowledge base, 14, 15

Migrating a Database, 17

Migration Portal, 1

Migration Toolkit, 49

Overview of the Migration Portal Home Page, 11

Overview of the Migration Portal Projects Page, 13

Overview of the Migration Portal Wiki Page, 15

Performing a Schema Assessment, 23

Performing a Schema Extraction, 18

repair handlers, 15

resources, 15

schema assessment report, 26, 27

Schema Migration, 29

supported browsers, 7

supported databases, 7

supported object types, 20, 21

supported operating systems, 7

Supported Versions, 7

Using Migration Portal, 9

What's New, 3